

# カラスのレストラン！？畜産団地は食べ物がたくさん！

～ペリットから見るカラスの好きなメニューとは？～

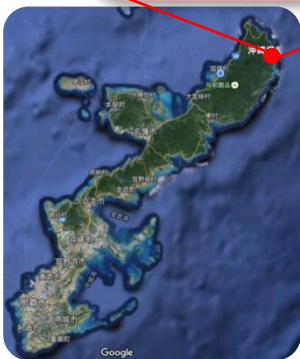
齋藤仁志



## <目的>

沖縄本島に棲息するリュウキュウハシブトガラス *Corvus macrorhynchos connectens* (以下カラス) は、主に北部のヤンバル地域で多く見ることが出来るが、20年ほど前から徐々に個体数を増やし、現在では南部でも時折姿を見られるようになった。増加した根源ははっきりとしていないが、おそらく、養豚業が盛んになり、養豚場一つ一つの規模が拡大したことに大きく関係があると思われる。実際、ヤンバル地域を散策してみても、養豚場周辺ほどカラスが集まっている場所は、ねぐらを除いて見たことがない。

本研究では養豚場が多数存在する国頭村字楚洲にある畜産団地周辺において、カラスの吐き戻し(ペリット)を分析することで、そこに集まるカラスの食性を明らかにすることを目的に調査を行う。



この研究で得られた結果は、以下のことに活用したい

- ①畜産団地周辺を行動圏とするカラスの基礎的な生態情報を提供。
- ②カラスが増加した根本原因を探るための一つの情報を提供。
- ③増えすぎたカラスを減少させる対策に役立たせることで、カラスによる農業被害を軽減させる。

## <調査について>



### 対象種

リュウキュウハシブトガラス

*Corvus macrorhynchos connectens*

### 調査地

沖縄島国頭村字楚洲の畜産団地周辺

### 調査期間

2016年4月1日～2017年3月31日

### 調査方法

損傷が少なくまとまっており、吐き出されてからあまり時間が経過していないペリットのみを選定し、ピンセットを使用し小袋の中に一つずつ回収する。概ね月に20～40個程度回収する予定。

### 解析方法

大まかに**動物質・植物質・豚の飼料・その他**に分類し、そこからさらに可能な限り種まで特定する。

分類後は、月ごとの含有率を算出する。



例：5月にペリットを20個回収した。そのうち昆虫Aが含まれていたのが10個あった。

＝5月に回収したペリットの50%に昆虫Aが含まれていた。

このように、単純な%で報告する予定です。

### どんな成果が得られるか

畜産団地周辺に集まるカラスが食べているものを月ごとで知ることが出来る。

### 必要資材

- ・ペリットを保管しておくための冷凍庫&ドライキャビネット
- ・分類時に必要な光学顕微鏡
- ・現地までの交通費（ガソリン代）
- ・ペリット回収用の小袋（大量）
- ・その他、記録用のペンや回収用のピンセットなどの小道具類

※現在、リュウキュウハシブトガラスの生態研究はほとんど実施されていないのが現状です。本研究を起点にヤンバルに棲息するカラスの生態を一つずつ明らかにしていきたいと思っています。そして、農業被害を中心とした人との軋轢を軽減させる手立てがあればと考えています。ご支援何卒よろしくお願いたします。